

自営業者の余裕資金で何を積み立てるべきか？

まず第一に国民年金の付加年金

- 国民年金の受給額を上乗せできる制度
- 掛金は月額400円
- 付加年金額は「200円×付加年金保険料の納付月数」
→ 年金受給後2年で元が取れ、3年目からはまる儲け

老後の資産形成にはiDeCo、経営の備えには小規模共済

| | iDeCo | 小規模企業共済 |
|----------|-------------------------------|--|
| 月額の掛金 | 5,000～68,000円 | 1,000～70,000円 |
| 掛金の節税効果 | 全額が所得控除 | 全額が所得控除 |
| 受取時の節税効果 | 一時金…退職所得控除 年金…公的年金等控除 | 一時金…退職所得控除 年金…公的年金等控除 ※中途解約は一時所得 |
| 中途解約 | 不可（60歳以降） | 可能（ただし20年以内の解約は元本割れ） |
| 掛金の変更 | 可能 | 可能 |
| 運用の方法 | 投資する商品を自分で選ぶ （増やせるかも？） | 基金にお任せ（日本国債中心の運用） |
| その他 | 投資信託の信託報酬に注意 （インデックス運用が無難） | 掛金の範囲内で融資が受けられる（利率1.5%） |

- 融資を必要としない事業を営んでいるなら…
→ iDeCo を優先して積立て、さらに余裕があれば小規模共済を検討。
※付加年金加入の場合はiDeCoの上限は月額67,000円。
- もしもの時に手元にお金がないのは困るなら…
→ 余裕資金全額を掛金にしない。iDeCoと積立NISAの併用も検討。
- 国民年金基金は？
→ 加入の時点で予定利率が決まる仕組みで、過去に高利率で加入した人を支えるような構造になっている点に疑問あり。付加年金との選択制になるため、付加年金を選ぶべき。